

# 低コストハウス設計事業 仕様書

## 1 目的

ハウス仕様の条件等において以下のとおり補足する。

## 2 ハウス仕様の条件等

- (1) 面積 3,000㎡程度
- (2) 規格 軒高2.4m以上、奥行き50~100m  
(間口、奥行きは必ずしも規格を限定しない)
- (3) 耐風速 25m/s以上の風速に耐えることができる強度
- (4) 目標価格 5,000円/㎡  
※ハウス本体を建設するために必要な価格（付帯施設は含まない）  
価格に含まれるものは、部材費（ハウス本体資材、換気資材、被覆資材）、標準工事費（部材費にかかる建方費）、諸経費

### ※補足

目標価格（5,000円/㎡）は、ハウス本体の資材、作物荷重、被覆（外張り）資材、妻面資材、谷側開閉資材、副資材（止水シート、パッカー、ハウスペルト等）、自動開閉装置等の部材費及びそれらに係る施工費とし、二重の資材・内張及び防虫ネット（施工費同様）は含まない。

- (5) 見積もり 実勢に基づいた価格（入札時価格）で記載
- (6) その他 耐風性を有し、通常の栽培方式に支障をきたさなければ、用いる骨材や根石、間口等は問わない

## 4 事業実施に係る経費

当該事業の経費については、全て受託者の負担とする。  
ただし、県が別途必要と判断した経費についてはその限りではない。

## 5 委託期間

契約締結の日から平成30年3月31日

## 6 成果品等

- (1) 成果報告書 3部
  - 1) ハウス設計書（図面を含む）、パース図（外観2点以上）及び見積書
  - 2) ハウス構造計算書（（一社）日本施設園芸協会「園芸用施設安全構造基準」に準拠するものとするが、協会への確認は義務づけない）
  - 3) APハウス2号改良型と異なる点についての説明書  
(できる限り、一般の方でも理解出来る形とする)
- (2) 上記の電子ファイルが格納されている電子媒体一式

## 7 その他

- 1) 当該業務は、契約によるほか、本仕様書に基づき実施すること。
- 2) 当該業務の受託者は、業務を実施するに当たり、県と十分な調整を行うとともに、業務の進行については随時報告すること。
- 3) 当該業務の受託者は、業務を実施するに当たっての一切の責任を持つこと。万一、トラブル等が発生したときは、速やかに問題の解決に当たること。  
なお、県は事件解決のため、一切の責任を負わないものであること。
- 4) 成果品についての権利は、県に帰属する。
- 5) この仕様書に定める事項について疑義が生じた場合、又はこの仕様書に定めのない事項については、必要に応じて、県と受託者が協議の上、定めるものとする。